

2021年10月23日

東京都所属の選手、コーチ、保護者
競技活動に関わる関係者の皆さまへ

(一財)東京都スキー連盟
会長 岡部 直士

モラルの遵守と不適切行動等への注意喚起について

選手各位におかれましては、シーズンを前にトレーニングに集中されている時期かと思
います。この度、SAJ のモーグル競技の強化指定選手が、下記の通りのモラルを欠如した
不適切な行動をとった結果、強化指定選手としての資格を剥奪される処分が下るとい
う事態が起こっております。せっかく掴んだ榮譽や成績も台無しにしてしまう残念な事例で
あると言えます。

東京都の選手の皆さんもシーズンに向けて、同様な事態が発生することなど無い様に
行動には十分に気を付けて頂きたいと思えます。またコーチ、保護者、競技活動に関わる
関係者の皆さまは、選手に対して都度適切な指導を行って頂けます様、ご協力宜しくお願
いいたします。

さらに SNS 等の利用についても、昨今様々な問題や事件が発生しております。こちら
も節度のある利用を心がけていないと、想定外の落とし穴が待ち受けている場合があり
ますので、併せて留意して頂きたいと思えます。

記

【ご報告】本連盟強化指定選手の緊急事態宣言下における不適切行動について
(SAJホームページからの抜粋)

去る9月3日、フリースタイル競技モーグル種目の本連盟強化指定選手4名が、緊急事態
宣言下であるにもかかわらず、飲酒及び接客を伴う飲食店を利用し、その様子を SNS で
発信するという事態が生じました。このような行動は、全国民が新型コロナウイルスの感
染拡大の防止に努力している状況において、他者の生命を脅かすことにつながる可能性
もあった危険な行動であると同時に、多くの方から支援を受けて活動するアスリートとし
ての責任や自覚に欠けた行動でもあります。本連盟としては、本件を非常に重く受け止め、
コンプライアンス委員会による当該選手らへのヒヤリングのうえ、懲戒に処させていただきます。
(以下省略)

以上